

平成 23 年 6 月 3 日
青森労災病院 検査科 千葉祐二

東日本大震災派遣報告（3 回目）

派遣地 岩手県上閉伊郡大槌町・釜石市内避難所
派遣期間 平成 23 年 5 月 26～29 日（実活動 5 月 26～29 日＜4 日間＞）
対象避難所
5 月 26 日・金沢小学校・かみよ稲穂館・大ケロ集会・吉里吉里体育館
5 月 27 日・安渡小学校・寺野弓道場・浪板地区交流センター・大槌高校
・中央公民館・臼澤鹿子伝承館・小槌神社・赤浜小学校
以上：大槌町
5 月 28 日・甲子生活応援センター・旧第一中学校・観光センター・釜石高校
・尾崎小学校・旧商業高校・中妻体育館・松原コミセン・日顕寺
・嬉石市民交流センター・荒川集会所
5 月 29 日・釜石市民体育館・栗林小学校・上栗林集会所
以上：釜石市
活動内容 <エコノミークラス症候群検診>
・避難者の深部静脈血栓症発症リスク調査
・超音波検査による深部静脈血栓の有無とヒラメ静脈最大血管径
・弾性ストッキング配布とその履き方指導
派遣スタッフ 医師:岩手医科大学他 計 5 名
技師:超音波検査担当 延べ約 10 名
検診実施人数 807 名

事前に避難所へ検診の呼びかけを行ってもらい、総人数 807 名という大勢の検診を実施することができた。必要時、採血を行い簡易機器で D-ダイマー値を測定して、数名の方に後日精密検査するための紹介状を手渡した。

前回同様に避難所検診の成果として、エコノミークラス症候群の予防と啓蒙活動に大きく貢献したことが挙げられると思う。

